

教育制度・経営論

(2 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象） > 基礎理解に関する科目等

2 年、3 年、4 年 前期

週間授業

大和 真希子 (yamato@u-fukui.ac.jp, 0776-27-8742 (2572)、教育学系 3 号館、毎週水曜日 4 限目、実務経験：その他)

■ナンバリングコード

05-TTB-202 教育学部 学校教育課程 / 教職科目 教育の基礎理論〔2 年次レベル〕

■授業概要

この授業では、将来どのような教師になりたいのか、あるいはなるべきなのかを考える前提として、まず、教育や学校組織を成り立たせている制度・法律的基盤があることを様々な事例を通して確認する。そして、そうした基盤が教師個々のライフワーク、かれらが抱きがちな価値観や信念に及ぼす影響について考察できるよう意図している。

教師を志望する本学の学生のみならず教職を目指さない学生にとっても、教育という営みを「教師」という視点からだけでなく、制度、政策、法律、経営といったマクロ的な枠組みで捉えられるよう工夫されている。

■到達目標

教育と密接にかかわる制度・法的な根拠を知り、学校を取りまく文化的な背景を学び、教職の専門性について理解すること。学校と児童・生徒、地域の関連性を多様な観点から考え、教育経営に関する知見を得ること。他者とのディスカッションなども含め、積極的な授業参加を期待する。

■授業内容

1. ニッポンの学校(1)― 歴史的な成り立ち・学校の存在目的とは？
2. ニッポンの学校(2)―「学校世界」の文化とは／空間・身体・言葉
3. ニッポンの学校(3)― 子どもが学校化するプロセスについて／管理・規律的側面から
4. 学級を経営する(1)― 楽しいクラスとはなにか／環境・空間的側面から
5. 学級を経営する(2)― 楽しいクラスとはなにか／感情・対話・関係性の側面から
6. 授業とは何か(1)― 実践事例の分析から(小学校を中心に)
7. 授業とは何か(2)― 実践事例の分析から(中学校を中心に)
8. 授業とは何か(3)― 複雑で多様な営みを整理する／インターベンションという観点から
9. 感情労働と教師(1)― 教師の仕事の中身・その対価について考える
10. 感情労働と教師(2)― コミュニケーション・熱血のあり方と体罰論から
11. 社会と学校経営(1)― 開かれた学校・オルタナティブスクールの実際から
12. 社会と学校経営(2)― 学校選択制のメリットと課題
13. 社会と学校経営(3)― 地域社会との繋がり／教師の仕事の評価
14. リスクマネジメントと学校経営(1)― 学校事故・部活動の事例から
15. リスクマネジメントと学校経営(2)― 子どもの安全を守るための手立て・意識づくりのために
16. まとめ―これからの学校の可能性

■準備学習（予習・復習）等

授業の中で重要と思われるテーマに関する資料収集・文献購読・資料検索など

■授業形式

【授業形式】

講義

基本的には講義形式で行う。教員が作成し、配布した資料と同時に VTR 映像などを活用しながら学生同士のディスカッションを交えて授業を進める。

■成績評価の方法

出席状況だけでなく、授業内に作成したレポートの内容および学期末レポート提出を合わせて総合的に評価を行う。

■教科書・参考書等

授業開始時に、教員が作成した資料や文献のコピーなどを配布する。

■キーワード

教育制度 学級経営 授業づくり・授業実践 教師の仕事 指導と介入（インターベンション） リスクマネジメント

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングの要素を含む科目
ブレインストーミング、振り返りシート・コメントペーパーの活用、課題に応じた話し合い活動、ケーススタディによる議論

■授業形態

対面授業

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに